

報告「職務執行の状況について」

議長は、報告を求め、鈴木業務執行理事が報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めた。

【橋本評議員】

ジオパークガイド育成について、いつからガイド養成事業に着手して、実際の程度の養成がなされているのか。

【菅原事務局長】

三陸ジオパーク協議会に対して、20万円の負担金を支出しているもの。ジオパークのガイドについては、これまで震災の語り部ガイドや地質のガイド等さまざまなガイドがあり、連携ということで、研修会を行ってきたところ。昨年度には、認定ガイド制度の仕組みを立ち上げた。講習を受けて、実技試験に合格した人を認定ガイドとしており、23名が合格、そのうち20名がガイドして活動している。

その他、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「議長の選出について」

第1号議案について、選出方法を諮ったところ、事務局一任との発言があり、鈴木業務執行理事から、議長に中居評議員の提案があった。それに伴い、副議長が空席となることから、副議長に山崎評議員の提案があり、異議なく提案どおり決定した。

引き続き、進行は、議長である中居評議員により進められた。

第2号議案「議事録署名人の選出について」

議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は藤田評議員と山崎評議員の2名を指名した。

第3号議案「平成30年度事業計画及び収支予算の承認について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めた。

【山崎評議員】

三陸防災復興プロジェクト2019について、基金の予算は、来年度3800万円程度とあるが、再来年度の見込みは。

【菅原事務局長】

さんりく基金の実行委員会への負担金の財源は県からの負担金となっている。県から

直接実行委員会に出すお金が 6000 万円あり、当面の準備業務やイベントの実施の経費ということで、合計 9000 万円超の予算となっている。今回基本計画が作成されたところであるので、基本計画に応じて具体的な準備をすすめていくため、年度途中で補正予算で所要額を確保したい。

【橋本評議員】

県北沿岸地域特産品開発事業について、かなりの件数を支援しているという実績は分かったが、これまでこの事業に取り組んできて、アウトカムとしての成果の把握はどのようになっているか。支援することが目的ではなく、地域の特産品として根付き、市場にデビューするまでを後押しすることが大事かと思うが、その辺の把握はどのようにしているのか。

【菅原事務局長】

特産品開発事業は、当初は、東日本大震災津波からの支援ということで、販路が失われた事業者の事業を広く取り上げて支援することを目的としてスタートしたが、年数が経ったこともあり、より成果につながる商品開発につなげていきたいと考えている。取組がどうなったのかが重要であるので、毎年度、事業者にフォローアップ調査という形で書面調査や訪問してのヒアリング調査を行っており、課題等を抽出している。現状としては、道の駅での販売や地元での販売にとどまっている商品が中心であるため、今後さらに全国的な販売にもつながるように完成した商品へのフォローアップを考えたい。

【橋本評議員】

中には、継続支援や採択が数年間に及ぶものもあるかと思うが、制約や採択の方針はあるのか。

【菅原事務局長】

さんりく基金では 50 万円と少額の支援となっているので、基本的には単年度事業として支援している。商品開発については、産業振興センターなどの他事業があるのでそちらとのすみ分けをしているもの。数年間にわたる事業の要望は聞いてないが、使い勝手がよいように、事業者からのニーズ調査をしながら制度設計をしている。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第 3 号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議長は、その他質問、意見を求めたが、特に発言はなく終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午後 2 時 00 分閉会を宣し、解散した。